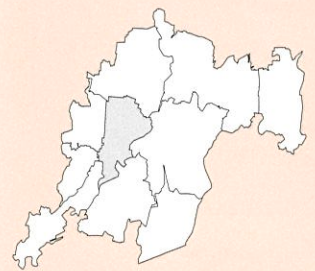
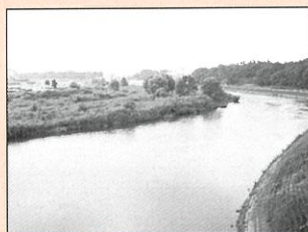


## 穂積地域



ごあいさつ	110
1 まちづくりの将来像	111
2 地域のすがたと財産	112
3 地域の現況と課題	114
4 地域のまちづくりの整備目標	116
5 地域整備方針	118

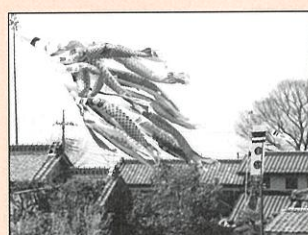
## ごあいさつ



思川



国道50号



萩島周辺の集落地



白鷗大学



上国府塚周辺の集落地



素案がまとまって記念撮影

戦後半世紀が過ぎ21世紀となった現在、私達は、置き忘れてきた心の豊かさとやすらぎを求めて、自然と触れ合い、芸術やスポーツに親しむ様になってまいりました。

そのような背景のもと、市民の皆さんの多くは、小山市の中心を流れ、市のシンボルである「思川」の更なる活用を求められていることと思います。穂積地域は9地区のうち5地区が思川沿いに位置しております。観晃橋から間中橋までの範囲に、白鷗大学、国道50号の通る思川大橋、石の上橋を有し、対岸の市街地には市役所、小山第一小学校、鷺城跡や県南体育館等が立地しております。そして西側にはすばらしい田園地帯が広がっております。

20年先を見据えた構想として、私達は自然環境の保全に配慮し、都市と農村の交流によって共に優しい心が芽生えるような、市民の皆さんに親しまれる穂積地域づくりを目指していきたいと考えております。この構想が皆様のご支援のもと実現されるよう、御期待申し上げます。

穂積地域まちづくり検討会 座長 速水 丈夫

副座長 山野井登喜江

青木喜久治 小野寺和之 岸 正美

岸 有子 藪下 和弘

\*敬称略：五十音順

### 【地域別構想検討の経緯】

- ・第1回 全体会議 [平成15年 2月 2日：中央市民会館]
- ・第2回 地域別会議 [平成15年 3月 2日：穂積公民館]
- ・第3回 地域別会議 [平成15年 6月14日：穂積公民館]
- ・第4回 地域別会議 [平成15年 9月 7日：中公民館]
- ・第5回 代表者会議 [平成15年 12月 6日：小山市役所会議室]
- ・第6回 地域別会議 [平成15年 12月14日：中公民館]
- ・第7回 地域別会議 [平成16年 4月18日：中公民館]
- ・第8回 全体会議 [平成16年 7月 4日：県南体育館]

# 1 まちづくりの将来像

地域別検討会の大切な成果のひとつとして、みんなで考え、つくったまちづくりのテーマとキャッチフレーズです。

## ■ キャッチフレーズ

きらめく水辺に桜映え 学舎の活気は明日へ響く  
都市と農村が交流し  
共に優しい心咲く 穂積地域

### ●きらめく水辺に映える桜

： 地域に身近な思川の流れと、春になると満開になる美しい桜堤の景観をあらわしています。あわせて、間中や豊穂川など、桜を身近に感じる地域であることをあらわしています。

### ●学舎の活気／明日へ響く

： 白鷗大学で学ぶ若者の活気が、ハンドベルの音色にのって地域の明るい将来を築いていく姿をあらわしています。

### ●都市と農村の交流

： 小山の中心市街地に近接した田園地帯である地域の立地特性をあらわすとともに、国道50号沿道に整備予定の「道の駅\*（都市と農村交流拠点）」によって生まれる新たな交流の姿をあらわしています。

### ●共に優しい心咲く

： 都市的要素と農村的要素が調和して、温かく優しいふれあいの心が生まれる様子を桜の花になぞらえて「咲く」と表現しています。

## ■ まちづくりのテーマ

きらめく思川の水辺空間 実り豊かな水田  
間中・豊穂川の美しい桜並木が優しく色づく  
うるおいある「ふるさと」の田園景観  
若者集い明日にはばたき ハンドベルの音色優しい 白鷗大学

誇れる自然環境を大切に  
国道50号と道の駅\* から 都市と農村をつなぐ交流を  
安全・快適・便利な生活環境を形成しながら  
調和と優しさを大切に みんなの心咲く 穂積地域のまちづくり



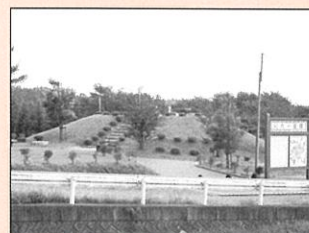
思川の河川敷



豊穂川



上石塚周辺の農地



川の一里塚（石ノ上）



間中周辺の集落地



国府神社と付帯遊園

## 2 地域のすがたと財産

### ■ 地域の主な財産など

※各写真の番号は右図の番号に対応しています

#### □ 地域の公共施設など

(※印はおやま百景)

##### 【行政機関】

- ・穂積公民館

##### 【福祉関連施設】

- ・ふれあい健康センター

##### 【学校教育施設】

- ・白鷺大学
- ・美田中学校
- ・穂積小学校

##### 【都市計画緑地】

- ・思川緑地

##### 【歴史的資産など】

- ・稲荷神社※
- ・旧間中分校
- ・興永寺
- ・国府神社※
- ・蚕室づくりの農家(福田家)※
- ・聖観世音
- ・等覚院※
- ・穂積小学校跡の柳※
- ・防風林のある旧家(岸家)※
- ・昔の名主を偲ばせる長屋門と塀(松本家)※

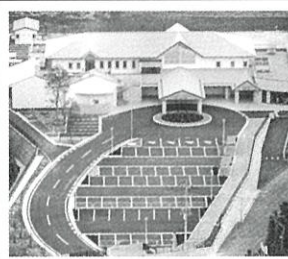
##### 【その他】

- ・道の駅(都市と農村交流拠点)
- ・小山下石塚郵便局
- ・JA穂積支店



#### 1. 穂積公民館

地域コミュニティ活動の中心拠点施設。



#### 2. ふれあい健康センター

高齢者の快適で充実した生活をサポートする拠点。



#### 3. 白鷺大学

ハンドベルクワイアは日本でもトップレベル。



#### 4. 美田中学校

昭和39年創立／生徒数245人(H14.5.1現在)



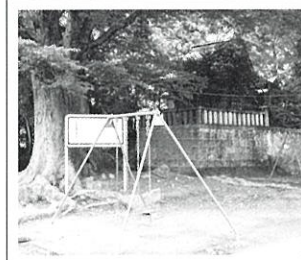
#### 5. 穂積小学校

明治6年創立／生徒数154人(H14.5.1現在)



#### 6. 思川緑地

思川河川敷の緑地公園で樹林地や運動施設がある。



#### 7. 国府神社※

境内のケヤキは御神木として大切に守られている。



#### 8. 稲荷神社※

庶民信仰の拠り所。邪心を断ち切る心図絵馬が有名。



#### 9. 穂積小学校跡の柳※

穂積小の古い敷地に残った高さ10mを超える大柳。



#### 10. 豊穂川の桜※

両側の堤に美しい桜並木が続く。



#### 11. 間中の桜並木※

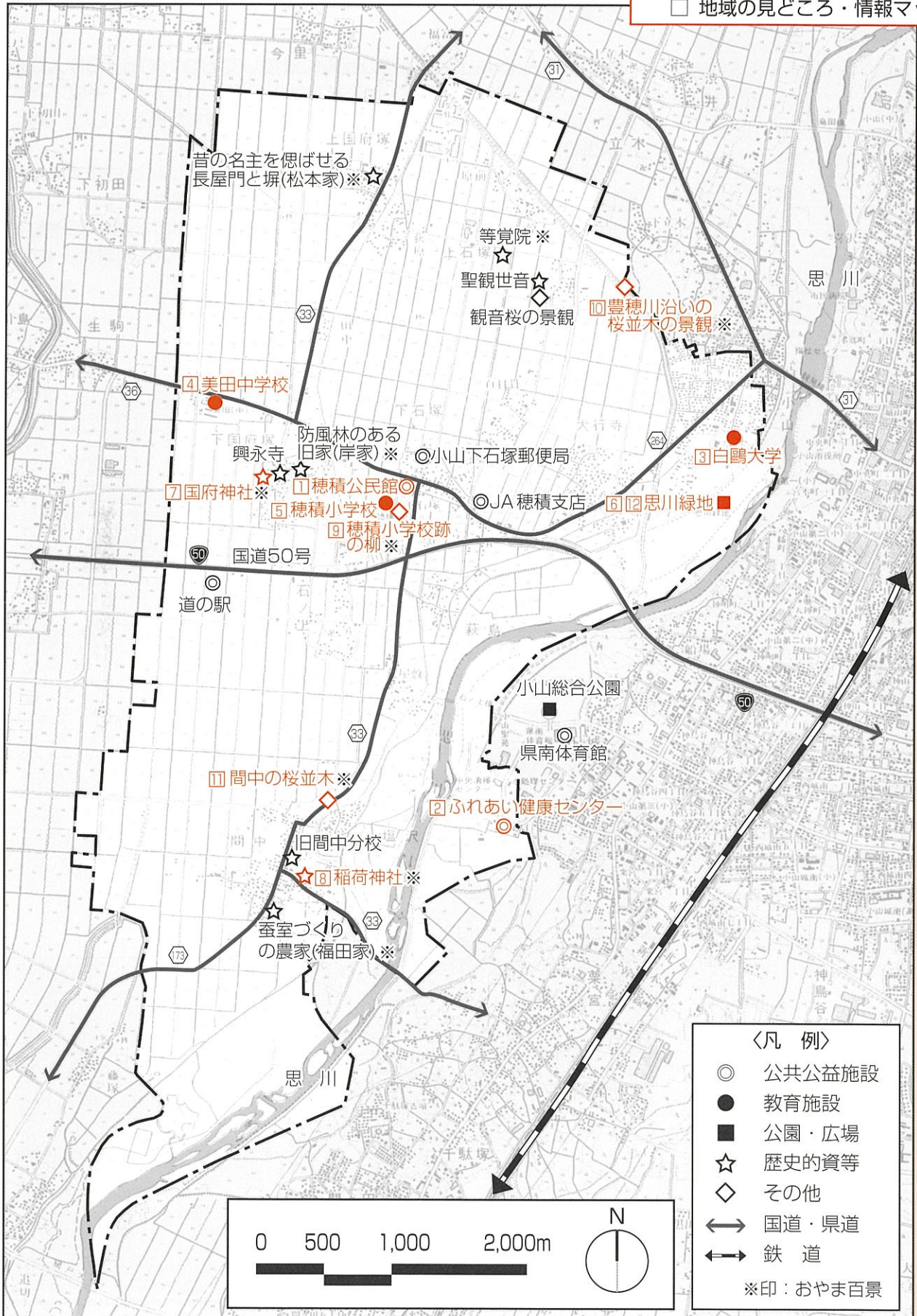
地元により維持される200m続く桜のトンネル。



#### 12. 思川緑地の桜

堤防周辺に咲き誇る桜並木は市民の憩いの場。

□ 地域の見どころ・情報マップ



### 3 地域の現況と課題

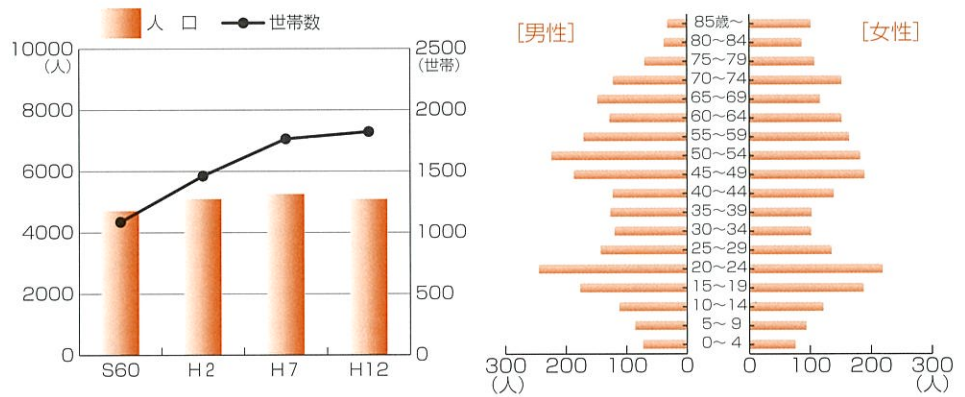
#### 1) 地域の概況

思川を挟んで小山中央地域の西側に隣接しており、約5,000人が居住しています。近年の人口・世帯推移は概ね横ばいですが、平成7年ごろまでは、白鷗大学の学生人口の影響と思われる増加が顕著でした。また、世帯当り人口が低く、若年層人口が多いのが特徴です。

大行寺周辺は既成市街地を形成しており、思川沿いには白鷗大学が立地しています。また、周辺の田園地帯には集落地が点在しています。

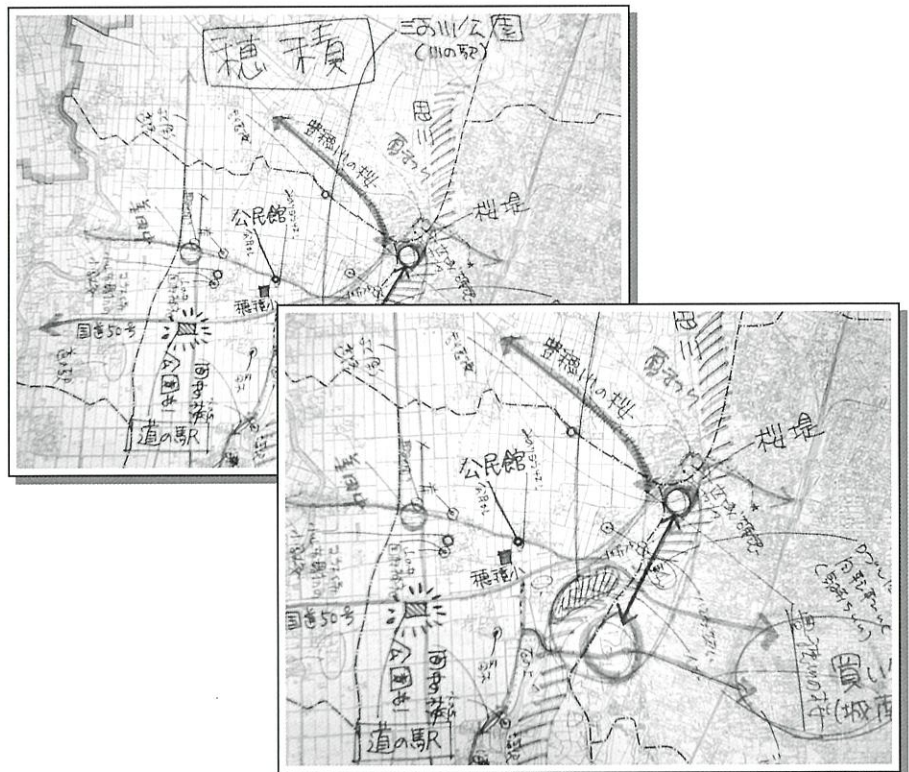
地域中央を国道50号が横断しており、道の駅（都市と農村交流拠点）の整備が進められています。また、思川緑地は美しい水辺環境として、市民に広く利用されています。

#### □ 人口の推移・5歳階級別人口



#### □ ワークショップ結果 (情報地図)

【情報地図の作成】 → p10



## 2) 現況と課題

### ■ 土地利用

- ・ 広大な農地と田園集落地が広がっており、東側を思川が流れています。
- ・ 大行寺周辺は既成市街地を形成していますが、一部白地地区となっていて、都市基盤の整備とともに、適正な市街化の誘導検討が課題となっています。

### ■ 道路・交通

- ・ 周辺市町への広域的な幹線道路となる国道50号が通る立地にあって、都市計画道路\* や外環状線など、市全体や地域の骨格となる道路網の形成が必要です。
- ・ 市街地内の生活道路等において、歩行者の安全性確保が望まれています。
- ・ 地域内を通る公共交通機関（バス路線）がなく、移動利便性の向上が課題となっています。

### ■ 公園・緑地

- ・ 思川の河川敷を活用して思川緑地が整備され、地域の憩いの場として活用されています。
- ・ 身近な公園等が少なく、神社境内の有効活用などによる子供の遊び場・憩いの場の確保が望まれています。
- ・ 思川の河川樹林や社寺林などの緑を大切に保全・活用していくことが望まれています。

### ■ 自然・景観

- ・ 思川と河川樹林の美しい自然景観を保全・活用していくことが望まれています。
- ・ 思川沿いに桜並木が整備されており、豊穂川沿いや間中とあわせて、美しい桜の景観を保全していくことが望まれています。
- ・ 自然環境と調和した美しい田園景観の保全・形成に努めていくことが大切です。

### ■ 公共公益施設・供給処理施設・その他

- ・ 国府神社などの社寺や古くからの屋敷・長屋門など、歴史的資産の保全・活用が望まれています。
- ・ 国道50号線沿いに「道の駅\*（都市と農村交流拠点）」の整備が進められており、小山市の新たな交通・交流拠点として機能することが期待されています。
- ・ 穂積公民館や白鷗大学などは、様々な交流や地域コミュニティ\* 活性化に寄与する場としての活用が望まれています。
- ・ 集落の人口増加が乏しく、また人口が著しく減少している集落もあるため、現在の田園環境を守りつつ、新たな居住を可能とする方策が必要です。

## 4 地域のまちづくりの整備目標



### ● 自然資源や農業環境と調和した 良好な市街地環境・集落環境の形成

大行寺周辺の市街地は、土地利用の実態に即しながら、適正な市街地の形成を図ります。また既存集落を中心とする緑住集落地は、農地の保全、農業生産環境の向上に努め、一定の立地基準緩和に沿って、新たな活力や地域コミュニティ\*の創出を図るとともに、生活環境の向上・改善を促進することで、緑豊かで快適な定住型集落環境・田園景観の形成を図ります。



### ● 骨格道路の整備や移動交通環境の向上と 交通拠点（道の駅\*）の形成

小山市の骨格を形成する外環状線や日常生活の軸となる道路網の整備とともに、コミュニティバス\*など地域の利便性向上に資する公共交通網の形成や、自動車利用者の広域的な交通拠点、都市と農村の交流拠点となる「道の駅」の整備などによって、市内主要施設や鉄道駅、地域間における移動交通環境の向上を図ります。



### ● 桜の映える美しい自然景観や誇れる歴史的資産の保全・活用

思川沿いや集落部等の水辺空間と緑地・思川桜の美しい自然景観、また稲荷神社などの誇れる歴史的資産を保全するとともに、思川を軸とする市全体における資源ネットワーク\*としての位置づけをふまえながら、自然環境・歴史文化の拠点として整備・活用していきます。

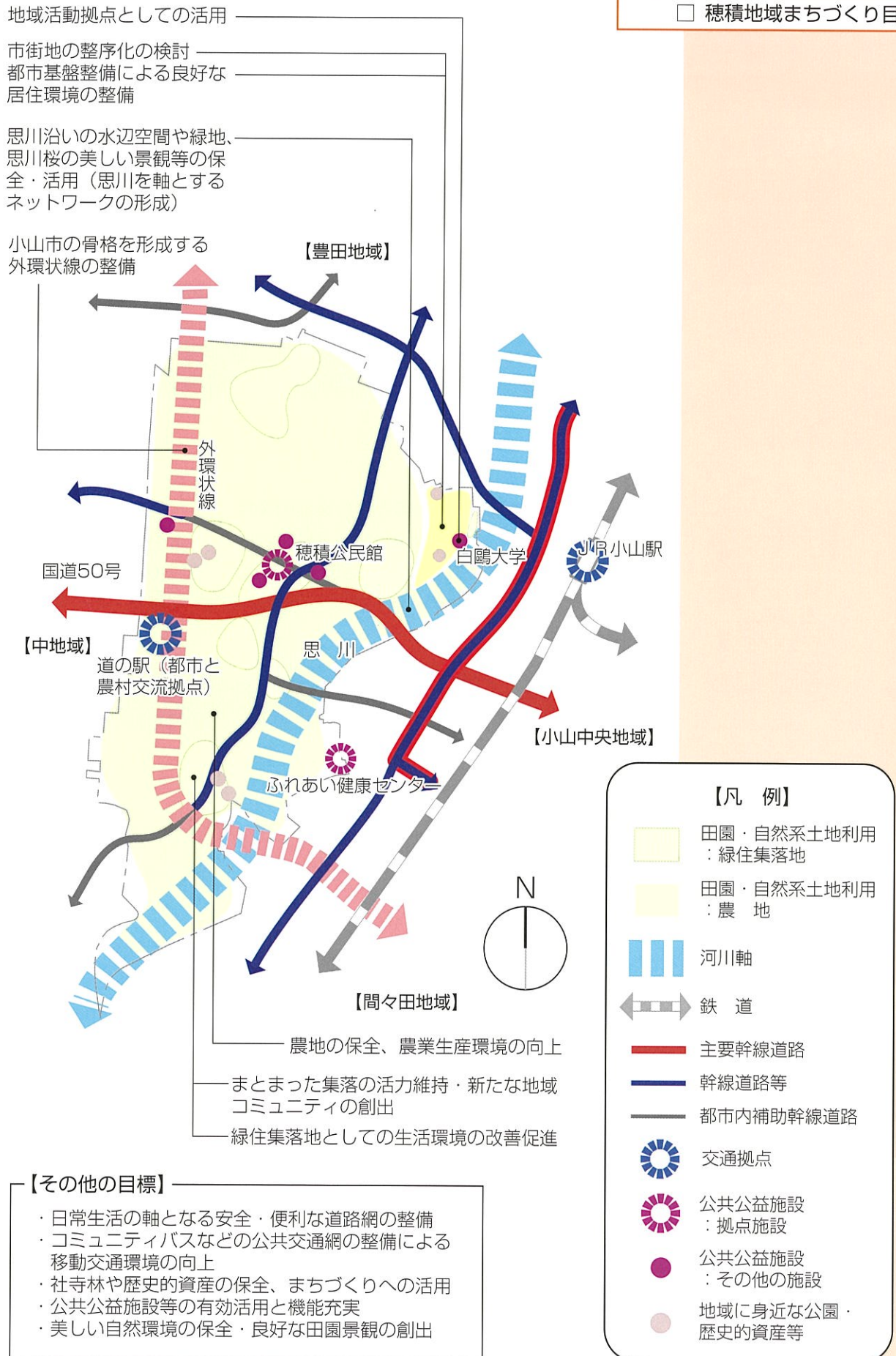


### ● 地域生活やコミュニティ\*活動を支える拠点施設の充実と活用

地域での生活を支え、地域コミュニティ\*活動・世代間交流の拠点となる公共公益施設（行政サービス施設等）の機能充実とともに、白鷗大学等、学校・教育文化施設等について、地域活動拠点としての活用を図ります。



□ 穂積地域まちづくり目標図



## 5 地域整備方針

### ■ 土地利用

□対応する主要整備方針イメージ

04・P172◀

18・P176◀

22・P177◀

23・P177◀

05・P173◀

19・P176◀

22・P177◀

23・P177◀

02・P172◀

20・P176◀

#### ● 適正な市街地の形成と居住環境の向上

都市基盤整備の状況等に応じて効果的な手法を用いながら、また土地利用の実態に即した市街地の整序化を図りながら、周辺環境と調和した良好な市街地環境の形成とその維持・向上に努めます。その際は、地元と協調・協働\*しながら、また必要な支援等を行いながらまちづくりを進めていきます。

- 大行寺地区周辺の白地地区における、市街化の実態にあわせた整序化の検討
- 大行寺地区周辺における、地域住民と協調・協働\*による都市基盤整備をみすえた修復型まちづくりの検討 等

#### ● 豊かな田園生活環境の充実と優良農地の保全

既存集落は、その形態を活かしながら、また一定の立地基準に基づく区域指定をふまえながら、生活環境の向上・改善を促進するとともに、恵み豊かな農地の保全や自然環境と調和した美しい田園景観の形成を図ります。

- 優良農地と集落部の社寺林等の保全・育成
- 既存集落地における便利で美しい生活環境の向上・改善 等

#### ● 自然環境に配慮した土地利用

思川の水辺空間や河川樹林・平地林\*などの豊かな緑地環境の維持・保全を図ります。

- 思川と河川樹林などの自然環境の保全・活用
- 地域内の平地林\*等、貴重な自然の保全・育成
- 国道50号沿道における、周辺環境との調和に配慮した適正な土地利用の誘導 等

## ■ 道路・交通

### ● 小山市全体や地域の骨格を形成する道路網の整備・充実

広域的なつながりや周辺地域との関係を念頭に置きながら、地域内の円滑な交通処理、交通サービスの向上を図るため、地域の骨格となる幹線系の道路について、それぞれの機能や役割を分担する段階的・計画的な道路網の整備を進めます。

▶ 06・P173

- 環状道路（外環状線）の整備推進
- 広域幹線道路となる国道 50 号の適切な維持 等

### ● 安全で人に優しいバリアフリー\* 環境と自転車回遊型ネットワーク\* の形成

市街地において、また豊かな自然や歴史を身近に感じながら、徒歩や自転車などの方法で移動できるネットワーク\* の形成に努めます。

▶ 07・P173

▶ 09・P174

▶ 10・P174

- 歩行者の安全性確保やバリアフリー\* に配慮した生活道路の整備
- 思川サイクリングロードなど、自転車利用環境の整備検討 等

### ● 交通結節点の整備や公共交通網の整備等による

#### 便利な交通ネットワーク\* の形成

広域的な交通結節点となり、都市と農村の交流拠点として機能する「道の駅\*」の整備に努めます。また、誰もが快適かつ便利に移動できるよう、コミュニティバス\* などの公共交通機関の整備拡充に努めます。

▶ 12・P174

▶ 13・P175

- 道の駅\*（都市と農村交流拠点）の整備推進
- 小山駅周辺や主要な公共施設、周辺地域などを連絡するコミュニティバス\*・乗合タクシー等の整備 等

## ■ 公園・緑地

15・P175 ◀

17・P176 ◀

### ● 思川を軸とする「水と緑と大地のネットワーク\*」の形成

小山中央ゾーン・小山南ゾーンとしての位置づけの中、思川とともに育まれてきた豊かな自然環境や誇れる歴史的資産を保全するとともに、これらの財産を連絡するネットワーク\* 形成を図ります。

- 思川や思川緑地、沿岸の樹林地など、自然環境の拠点整備
- 身近な歴史的資産の保全とまちづくりへの活用
- 周辺地域等とあわせて、自然環境の拠点や歴史文化の拠点等を連絡するネットワーク\* の形成

等

19・P176 ◀

### ● 自然環境の保全によるふれあい空間の創出

地域住民との協調による宅地内緑化の誘導を図るとともに、集落周辺の神社や社寺林を子供の遊び場として活用するなど、自然と身近にふれあえる空間の創出を図ります。

- 地区計画制度\* 等を活用した生垣・宅地内緑化の誘導検討
- 平地林\* や社寺林等の緑地空間の保全・育成
- 神社付帯遊園の活用

等

## ■ 都市景観

### ● 地域住民と協調し、都市基盤整備等をみずえた地区の美しい景観形成

観晃橋西側の既成市街地である大行寺地区周辺においては、地域住民との協調・協働\*による修復型のまちづくり検討にあわせて、地区計画制度\*の活用による良好で美しいまちなみの形成を図ります。

▶ 04・P172

▶ 18・P176

○ 大行寺地区周辺におけるまちづくりの検討と支援 等

### ● 豊かな田園と調和した美しい集落景観の創出

平地林\*や田園景観を大切に育てていくとともに、これらの農地や自然景観と調和した美しい集落景観を保全・育成していきます。

▶ 19・P176

○ 美しい田園景観の創出とその保全・育成  
○ 平地林\*や集落地内の社寺林等、自然景観の保全・育成  
○ 優れた家並みや屋敷林の保全等による、美しい集落景観の形成 等

### ● 思川沿いの自然景観や幹線道路等における水と緑の景観軸の形成

本市を縦断する母なる思川の清流と河川樹林などの緑の自然景観を守るとともに、地域間をつなぐ主要な軸となる幹線道路における沿道緑化の推進、また沿道型店舗の景観形成の誘導など、水と緑のうまいある良好な景観軸の形成に努めます。

▶ 02・P172

▶ 20・P176

○ 思川の清流や河川樹林などの緑の保全  
○ 思川沿いや間中の集落、豊穂川等における桜の景観の保全・育成  
○ 国道50号や外環状線など、幹線道路沿道の緑化推進と市民と協調した維持管理  
○ 国道50号沿道における、周辺環境との調和に配慮した良好な店舗景観の誘導 等

## ■ 都市防災

### ● 雨水処理機能の向上や安全な防災施設の確保等

市街地における公共下水道\*の整備等、雨水排水に関する整備推進により、雨水処理機能の向上を図ります。また建築物の不燃化・耐震化促進とともに、安全な都市基盤形成に係る道路・公園等の整備、延焼遮断帯機能の向上やライフライン\*の確保など、都市の防災性向上に努めます。あわせて安全な避難施設の整備と防災体制の改善・整備を図ります。

【個別方針は全体構想編参照】

## ■ 河川・供給処理

20・P176◀

### ● 河川等の治水・保全や

#### 清潔で安全な生活を支える供給処理施設の整備・充実

思川は、河川整備や総合的な治水対策を行うとともに、貴重な自然として市民が水に親しめるような空間を創出していきます。また市街地における公共下水道\* や集落部の農業集落排水の計画的な整備を推進するとともに、ごみの減量化・リサイクル化など、環境汚染防止と自然環境保全に努めます。

【個別方針は全体構想編参照】

## ■ 公共公益処理

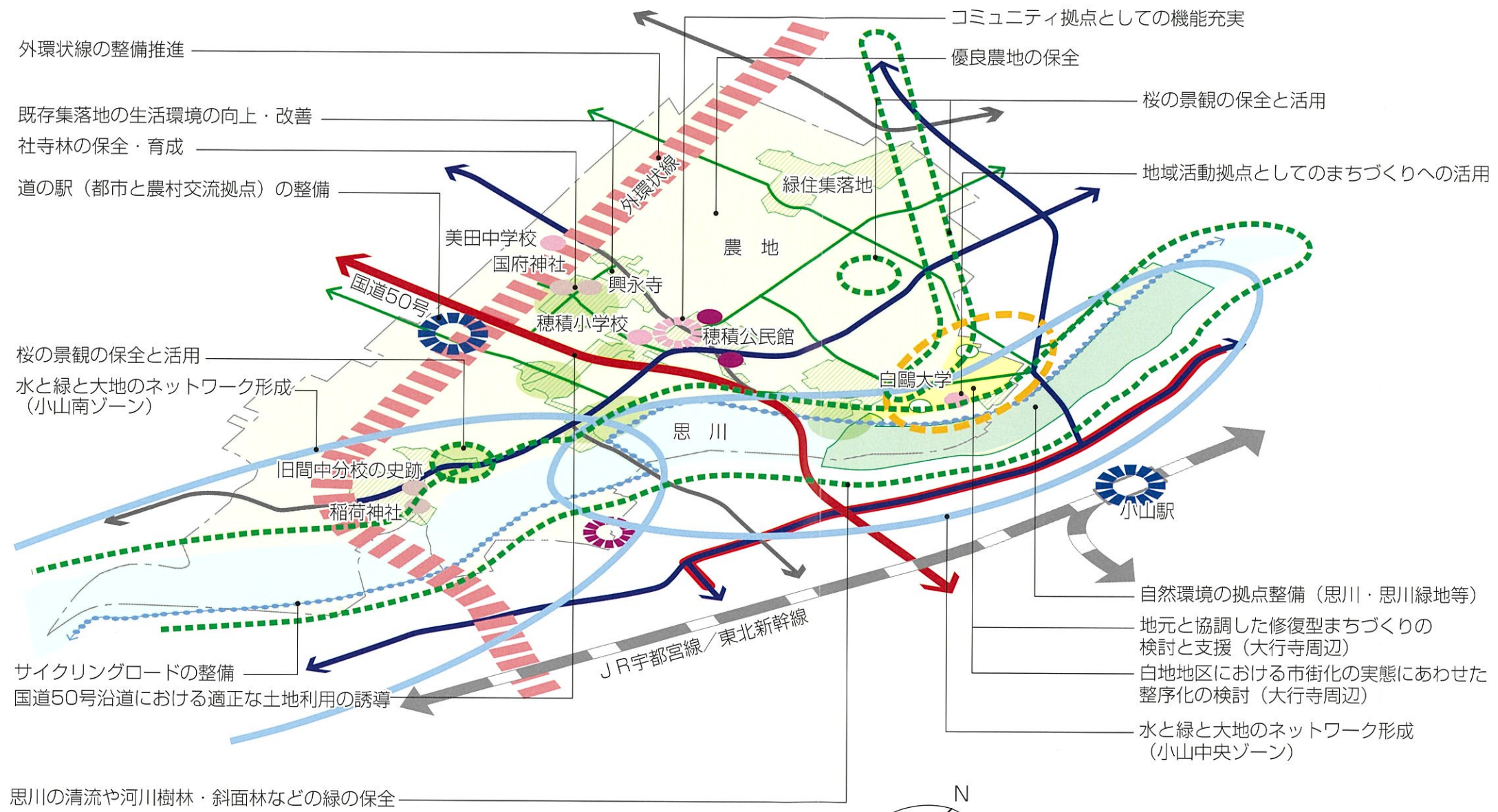
### ● 地域コミュニティ\* の拠点となる公共公益施設等の適正配置、

#### 機能充実及び維持管理等

市民生活を支える行政サービスの提供に加え、地域に身近でコミュニティ\* 活動の拠点となる公共公益施設について、小山市全体のバランスを考慮しながら、また既存施設を有効に活用しながら適正配置を図るとともに、その機能充実と地域と協調した適切な維持管理に努めます。

- 穂積公民館のコミュニティ拠点としての機能充実
- 学校教育・地域活動関連施設等の整備・機能充実
- 公共施設等の総合的利便性を向上するネットワーク機能強化
- 公共施設等のバリアフリー化推進
- 白鷗大学における地域活動拠点としてのまちづくりへの活用 等

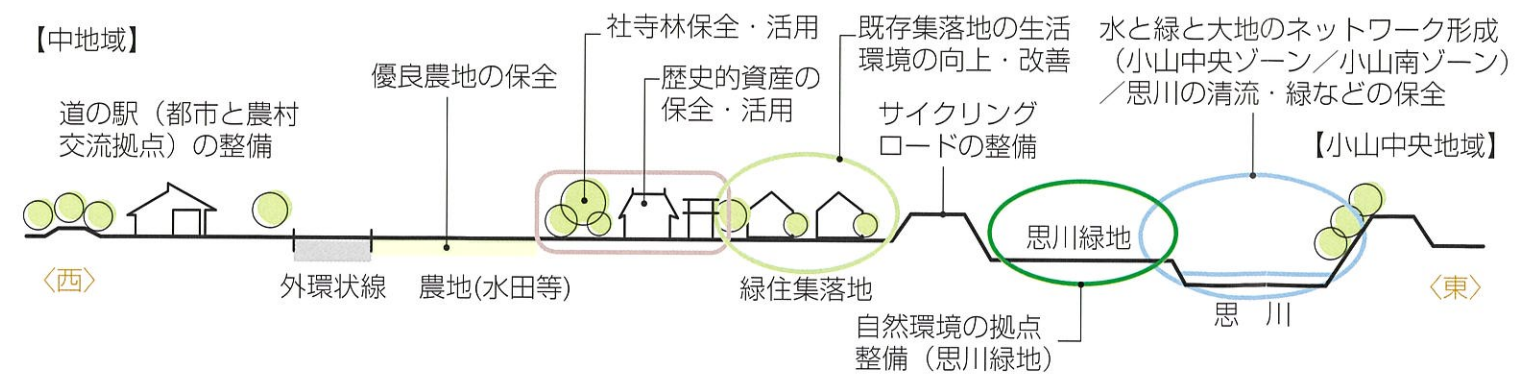
□ 穂積地域まちづくり整備方針図



**図例**

- 一般住宅地
- 緑住集落地
- 農地
- 河川・池沼
- 鉄道交通
- 主要幹線道路
- 幹線道路
- 都市内補助幹線道路
- \*破線は新規計画
- 地区内補助幹線道路
- 自転車道ネットワーク
- 交通拠点
- 住区基幹公園 [近隣・街区公園] (未整備：予定を含む)
- 緑地 (平地林等)
- 水と緑と大地のネットワーク (思川流域ネットワーク)
- 地区計画制度適用区域 (適用検討区域を含む)
- 行政サービス施設等
- 公民館・出張所等
- 学校教育施設
- その他の公共公益施設
- 地域に身近な広場・歴史的資産等

□ 地域の主な断面構成と方針



**□ その他の方針**

- ・ 優良農地と平地林・社寺林等の保全・育成
- ・ 美しい集落・田園景観の創出
- ・ 安全性やバリアフリーの配慮した生活道路の整備
- ・ 便利なコミュニティバス等の整備
- ・ 自転車利用環境の整備検討
- ・ 神社付帯遊園の活用
- ・ 身近な歴史的資産の保全とまちづくりへの活用
- ・ 身近にふれあえる貴重な自然の保全・育成
- ・ 適切で良好なまちなみ景観の誘導・維持
- ・ 道路の里親制度等の活用による市民と協調した沿道緑化の推進
- ・ 幹線道路沿道の緑化推進と市民と協調した維持管理
- ・ 学校教育・地域活動関連施設等の整備・機能充実
- ・ 公共施設等のバリアフリー化とネットワーク機能強化

